

幼稚園における避難訓練・年間指導計画例

I 避難訓練の年間指導計画

- 1 年間を通して幼児に身に付けさせたい力
 いろいろな災害発生の状況があることを知り、避難の仕方が分かって行動する。
 (1) 話を聞いて、必要なことに気付く。
 (2) 分かったことを基に予測し、見通しをもって行動する。
 (3) 自分の命を大切にすることの気持ちをもつ。

2 年間計画 (◇: 3歳児 ◆: 4・5歳児)

月	想定	ねらい	幼児が経験する内容	教師が意識するポイント
4	地震 (集合時) 予告あり	◇避難訓練があることを知る。 ◆地震発生時の身の守り方を確認し、避難する。	・放送や教師の指示を静かに聞く。 ◇避難訓練の様子を見る。 ◆・物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場(★)に移動し、ダンゴムシのポーズをとる。 ・防災頭巾をかぶり、「おかしも」の約束を守って行動する。	・落下や転倒、移動の可能性のあるものを、幼児に気付かせる。 ・幼児がダンゴムシのポーズをとる理由を考える機会を作る。 ・「防災頭巾をかぶる」、「ダンゴムシのポーズをとる」ことが自分の命を守るということを知らせる。 ・「おかしも」の約束の大切さを考えさせる。
5	地震 (集合時) 予告あり◇	◇地震発生時の身の守り方(※)を知る。 ◆(※)を理解し、避難する。	◇教師と一緒にダンゴムシのポーズをとったり避難したりする。 ◆・★(4月参照)を自分で考えて移動し、ダンゴムシのポーズをとる。 ・防災頭巾をかぶり、「おかしも」の約束を理解して行動する。	・4月の避難訓練の経験を思い出させ、自分で考えたり行動できたりしたことを認め、自信がもてるようにする。
6	火災 (集合時) 予告あり	◇火災発生時の身の守り方(※)を知る。 ◆(※)を確認し、避難する。	◇教師に手伝ってもらいながら防災頭巾をかぶる。「おかしも」の約束を知り、教師と一緒に避難する。 ◆・ハンカチで口や鼻を覆い、避難する。 ・「おかしも」を守って避難する。	・「おかしも」の行動が想像できるような視覚教材を活用する。 ・3歳児には煙の怖さを知らせ、なぜ口や鼻を覆わなければならないのかを伝える。
7	火災 (水遊び時) 予告あり	・水遊び中の身の守り方を知る。	・プールから出て安全な場所に避難する。 ・プールから速やかに出る。 ・ビーチサンダルや靴を履く。 ・バスタオルを羽織る。	・水の中で焦らず落ち着いて行動できるように声掛けする。 ※水遊びをしていない幼児は、避難してから水遊び中の避難の仕方を知る。
7	地震 (集合時) 引き渡し 予告あり	◇「南海トラフ地震関連情報」発信時の行動(※)の仕方を知る。 ◆(※)を確認し、行動する。	・速やかに防災頭巾をかぶり帰りの支度を済ませる。 ・保護者の迎えが来るまで教師と一緒に待機する。	・手遊びをするなどして幼児が安心して待つことができるようにする。
9	地震・津波 (集合時) 予告あり	◇緊急地震速報発令時、津波警報発令時の身の守り方(※)を知る。 ◆(※)を確認し、行動する。	・津波発生時には高いところへ避難すると身を守れることが分かる。 ・教師と一緒に階段を上って避難する。	・避難訓練以外に、高いところの避難場所へ何度か通い、経路や場に慣れさせておく。
10	地震・火災 (好きな遊び時) 予告あり	◇地震、火災発生時の行動の仕方(※)を思い出し、教師と一緒に行動する。 ◆(※)が分かり、行動する。	・地震、停電時の行動の仕方を知る。 ・教師の指示に従い、落ち着いて行動する。	・懐中電灯を使い避難しやすいようにしたり、幼児を安心させたりする。
11	火災 予告あり ※	・火災発生時の身の守り方が分かり、速やかに行動する。	・それぞれの活動内容や活動場所に合った避難の仕方を知り、行動する。 ・手に持っているものを置く。 ・乗っているところから降りる。	※ 学級ごとに異なる場所での一斉活動
12	不審者 (一斉活動時) 予告あり	◇不審者侵入時の身の守り方(※)を知る。 ◆(※)を理解し、行動する。	・緊急放送を聞き、教師の指示をよく聞いて行動する。 ・ホールで静かに待機する。	・防護盾やさすまたの場所を全員で共有する。 ・幼児に不安感を与えないようにする。
1	火災 (好きな遊び時) 予告なし	・予告なしの状況で教師の指示や放送を聞いて行動する。 ・二次避難の方法を知る。	・火災が発生した時の行動の仕方を理解する。 ・小学校校庭の避難の仕方を知り、速やかに行動する。(二次避難) ・揺れが落ち着いたら安全な場所へ避難する。	・二次避難場所への経路を確認する。
2	地震 (弁当時) 予告あり	・教師の指示や放送を聞いて行動する。	・弁当時の身の守り方が分かる。(持っている物を机の上に置き、机の下に避難する)	・落ち着いて行動できるように声掛けする。 ・口に食べ物を入れすぎないことを日頃から指導し、口に入っているものを飲み込んでから避難するよう知らせる。
3	地震・火災 (預かり保育時) 予告あり	・預かり保育担当の教師の指示や放送を聞いて行動する。	・預かり保育の時間における地震発生時の身の守り方や避難の仕方が分かり、自分で行動する。 ・自分で防災頭巾の着脱をする。	・預かり保育を利用している幼児を把握する。
3	地震・火災 (好きな遊び時) 予告なし	・地震・火災発生時に自分の身を自分で守る大切さが分かり、考えて行動する。	・好きな遊びの時間における地震発生時の身の守り方や避難の仕方が分かり、自分で行動する。 ・自分で防災頭巾を取ったりかぶったりする。 ・東日本大震災について知り、自分の身を自分で守ることの大切さが分かる。 ・素早く降園準備をする。	・誰がどこで遊んでいるか、非常勤講師や介助員とも連携しながら把握する。

学校における
安全教育

必ず指導する
基本的事項

計画

安全教育推進のポイント

実行

評価・改善

幼稚園

小学校

安全教育の充実に向けて

中学校

高等学校

特別支援学校

生活安全

安全教育の実践事例

交通安全

災害安全

避難訓練

参考資料

関連する法規等
学習指導要領等